

### 三学期 始業式

「一年の計は元旦にあり」・・・みなさんは聞いたことがありますか？意味は「一年のことは、年の初めの元日に、計画を立てて行うべきである。物事は初めが大事で、しっかりした当初の目標のもと着実にやっていきなさい」ということです。語源は中国とされていますが、現代の中国でも「一年之計在于春(イー yī ニエン nián ディー zhī チー jì ズァイ zài (ユ) イー yú チウ (エ) シン chūn (一年の収穫の計は春の耕作にある)」が、諺として使われ、すなわち、「今年は何をするか、年頭に目標を定め決意を新たにすることが大切で、年の初めの過ごし方が一年を左右する」という解釈がされているそうです。皆さんは、2022年！どんな計画や誓いを立てたのでしょうか？

そこで、「島二中学生徒全体の一年の計」について考えてみました。二学期終業式でもお話ししましたが、教育課程アンケートで、特に皆さんが高い肯定的な評価をした項目から導き出した中学生の特徴は、ア「係活動や清掃など、自分の仕事をしっかりと果たすことができる」イ「自ら判断して行動できる」ウ「互いのよさや違いを認めることができる」です。この3つはアピールポイントと同時に、この1年の中学生の目標でもあります。

更に付け加えれば、「本を読むことが好き」の項目が、2年前58%、昨年度65%、本年度71%と急上昇しました。2学期にお話しした「論語の知好楽」を実践するためにも、2022年(この1年)、今年は80%が(=5人に4人が)、新しいことを知るために本を読む！＝広い分野に知的好奇心持ち、更に本やネット上の科学的知見に富んだ多くの情報を得ることを、是非、全員が目標にしてほしいと思います。

NHK webnews で11月頃、名古屋工業大学の平田晃正教授のグループが、AI＝人工知能を使って予測したところ、もし、12月中にオミクロン株で感染経路の分からない「市中感染」が始まった場合は、東京都内の1日感染者数は1月には3000人を超え、2月には4,000人近いという計算結果になったということです。研究グループによりますと、オミクロン株の感染急拡大期と人の移動や飲み会などが増える年末年始が重なると、感染ピークが予測より大幅に多くなる恐れがあると指摘しています。まさにそれが現実になりつつあります。平田教授は「検疫をどんなに厳しくしてもオミクロン株を完全に防ぐことはできない。各地とも感染者数が少ないからと油断せず、感染拡大を最小限でくぐり抜けられるように対策を続けることが大切だ」と話しています。二中でも感染防止に務めていきたいと思いますが、県内市内で感染者が急増した場合、早ければ1月中に、学校や部活動などの対応が大きく変わる可能性があります。皆さんも、学校の授業に頼らず自ら学習を進める一層の覚悟と準備をしておきましょう。

校長 池谷 英人